



私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

(ホームページURL)
http://www.city.ogakig.jp/



水まつり

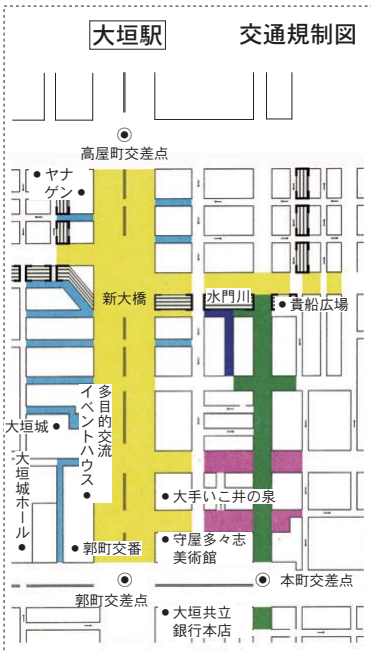
平成21年8月

6木 ▶ 9日

水都の夏を彩る水まつりが、8月6日から9日まで大垣駅通りや本町通り、水門川沿いを中心に華やかに繰り広げられます。

期間中は、時間帯によって下図のとおり交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。

詳しくは、同まつり実行委員会（大垣市観光協会内 ☎77-1535）でお尋ねください。



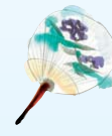
◇大垣七夕まつり

- * 8月6日(木)～9日(日)
- * 駅通り・本町通りほか
- ◇第41回駅前夏まつり
- * 8月7日(金)～9日(日) 午後6時～10時
- * 高屋町交差点～新大橋交差点
- ◇第61回大垣おどり大会
- * 8月7日(金)～9日(日) 午後6時10分～10時
- * 新大橋南～郭町交差点
- ◇第33回夏の福祉まつり
- * 8月8日(土) 午後6時～10時

規制地域	規制時間
高屋町交差点～新大橋交差点	8/7(金)～9(日) 18:00～23:00
新大橋南～郭町交差点	8/5(水)～10(月) 7:00～正午(終日)
郭町交差点～本町交差点	8/5(水)～10(月) 正午～正午(終日) 一方通行解除
大垣駅	8/5(水)～9(日) 18:00～23:00
本町交差点	8/7(金)～9(日) 18:00～23:00 一方通行解除

- * 新大橋南～郭町交差点
- ◇第25回水門川万灯流し
- * 8月8日(土) 午後1時30分～9時
- * 貴船広場～龍の口橋周辺
- ◇南国鹿児島おほら踊り
- * 8月8日(土)・9日(日)
- * 駅通りほか
- ◇フレンドリーシティ鹿児島市観光展
- * 8月6日(木)～9日(日)
- * 多目的交流イベントハウス
- ◇水まんじゅうご賞味キャンペーン (両日とも先着500人)
- * 8月7日(金)・8日(土) 午後7時～
- * 新大橋西側
- ◇神楽軒の掛芸披露とかき氷サービス券・大垣の水プレゼント (浴衣姿または小学生以下、各先着100人)
- * 8月6日(木)・7日(金) 午後6時30分～7時30分

暑中お見舞い
申し上げます
平成二十一年盛夏



<市長> 小川 敏
<副市長> 伊藤 義彦

大垣市議会

<議長> 野村 弘
<副議長> 中沢 清子
<議員>

田中 孝典	三輪 雅務
日比野芳幸	粥川加奈子
山口 和昭	小川 文康
笹田トヨ子	石田 仁
野田のりお	川上 孝浩
岡本 敏美	岩井 哲二
丸山 新吾	石川まさと
岡田まさあき	高橋 滋
鈴木 陸平	横山 幸司
富田せいじ	津汲 仁
長澤 忠男	林 新太郎
吉川 勝	高畑 正

- 後6時30分～7時30分
- * 本町1丁目・2丁目
- ◇大垣いちおし認定製品即売会
- * 8月8日(土)・9日(日) 午後6時～9時
- * 大手いこ井の泉周辺
- ◇ゆかたの着付サービス
- * 8月8日(土)・9日(日) 午後5時30分～7時30分
- * 多目的交流イベントハウス
- ◇かみいしづ温泉・湯葉の湯 足湯体験
- * 8月9日(日) 午後6時～9時
- * 新大橋西側

討論会では、ヘア大使や大木浩・全国地球温暖化防止活動推進センター代表らとともに、パネリストとして私も参加。加賀野八幡神社の自噴井、杭瀬川のホテル、西之川のハリヨなど、地域の皆さんと協力して良質な水環境を守る活動に取り組んでいることや、一時は「死の川」となった水門川が、企業との公害防止協定の締結や下水道整備などにより市民に親しまれる川になったこと、地球温暖化対策としてグリーン電力の推進やレジ袋削減運動などを展開していることなど、大垣市における取り組みを紹介しました。

また、治水対策においては、古くは木曾三川分流、輪中形成、そして堤防補強、河床掘削、排水機場の整備などを行っていること、さらに昨年の徳山ダム完成に伴い、治水安全度は大きく向上したことを発表しました。

終始、活発な討論が行われ、お互いに学ぶことの多いシンポジウムでしたが、基調講演や討論会を聞く皆さんの真剣な様子から、市民の水に対する意識の高さを再認識するとともに、治水対策・地球温暖化対策の重要性を改めて感じました。

6月26日、日本とオランダ両国が地球温暖化や治水対策を考える「日蘭水シンポジウム2009 inぎふ」が、ソフトピアジャパンセミナーホールで行われました。ともに海抜ゼロメートル地帯を多く抱え、過去に大水害に何度も見舞われた両国が協力し、世界的な水問題の対策を探るため、日蘭修好400年、伊勢湾台風50年の節目に企画されました。

ヘア駐日オランダ大使は基調講演で、日本の河川改修に尽くしたオランダ人土木技師ヨハネス・デレーケが植林を進めたように、自然への畏敬の念や愛などの感情を考えながら水管理の質的な向上を図ることが大切と訴えました。



日蘭水シンポジウムを終えて

大垣市長 小川 敏

市長の
かがやきメール